

明治大学情報コミュニケーション学部

2019年度国際交流（タイ）募集要項

留学先	タイ・バンコク シーナカリンウィロート大学
募集人数	情報コミュニケーション学部 1-4年生 20名（最少催行人数 10名）
派遣期間	2019年8月26日（月）～9月9日（月）
受入サポート	2019年6月10日（月）～6月30日（日）（交流国：タイ・ラオス）
研修費用概算	約¥145,000
応募期間	4月3日（水）～4月18日（木）午前9時 ※詳細は「応募から参加までの流れ」を参照
応募資格	選考にあたっては、成績よりコミュニケーションに対する積極性や協調性を重視します。多様な興味関心をもつ学生の応募を期待します。



プログラムについて

目的

人工知能などの急速な技術進歩により大きく変化する社会において、求められる能力の一つが異なる背景をもつ人々との共創・協働のためのコミュニケーション能力です。本プログラムでの交流経験は、みなさんの活躍の場を海外に広げる自信を得ることにも繋がるでしょう。参加者のうち3名は海外のアセアンの学生会議に参加し、「国連の持続可能な開発目標 (SDGs)」特に途上国で急速に進む「都市化」に伴う問題について英語で議論し提言をまとめるといった課題にチャレンジすることができます。ここでの経験は就職活動にもよいアピールになるでしょう。

アセアン諸国は人口6億を超え、著しい経済発展を遂げる重要なパートナーです。この地域同世代の若者と親密な交流を経験することができるのが、このプログラムの大きな利点です。多くの学生がプログラム参加後も続く、友情を育んでいます。交流を通じて、それぞれの社会の多様性を実感し、異なる文化を尊重することの重要性を学べるでしょう。単なる観光旅行では経験できない現地学生との交流を経験できます。

また、アセアンの中でもタイは、地理的にも経済的にも中心的な位置を占めており、多数の日系企業も進出しています。本学卒業生も多数活躍しています。企業見学などを通じてグローバルな経済の動きを身近に知ることができます。みなさん自身の将来の進路を考える上で役立つはずです。

使用言語

主として**日本語**。主たる交流相手は、タイの大学で日本語を学ぶ学生です。これまで国際交流に興味はあったものの、いま一步踏み出せなかった人も、これをきっかけに国境を越えた交流を楽しみ、「国際化」の動きに物怖じしない自信につながってください。ただし、企業見学では、英語による説明・質疑が必要な場合があります。タイ語の履修者は是非滞在中タイ語でのコミュニケーションに挑戦してみてください。

なお、参加者のうち3名まで、他学部を含む他のプログラム・学部と合同で行われる「世界展開力強化事業」のもとでアセアンの学生との合同会議にも参加できます。こちらの使用言語は英語です。英語にある程度自身があり、就職活動の際にもアピールできる経験を得たいと考えている人は、こちらに是非チャレンジしてください。

現在英語に自信があるひと、ないひとともに是非参加してください。

派遣プログラムについて

上記目的のため、現地の文化社会を知るための講義やワークショップに参加するほか、日系企業の見学を行います(NTT Communications データセンター、他、現地に進出しているメーカーを予定)。

また、タイの文化に触れるための観光旅行(アユタヤ遺跡)を予定しています。このほか、タイの学生らと小グループにわかれて市内をめぐるアクティビティも予定されています。

滞在中は、本プログラム参加学生の一人ひとりに日本語学科3年生が「バディ」としてつきます。親しい交流を通じて、忘れがたい経験ができますし、日常を安心して過ごせます。得がたい友情を築くことができるでしょう。

現地の医療は、非常に品質が高く、研修先の最寄りの病院では日本語が話せる医師・医療通訳などがいるので、いざというときも安心して診療を受けることができます。

一般的な、安全管理・健康管理については事前学習で指導するほか、現地でも最新状況に応じてアセアンセンターによるオリエンテーションを行います。また、SIM ロックフリーのスマホがあれば、現地電話会社のSIMの利用ができるよう支援します。また、現地で使える携帯電話を貸し出すことができますので、いざというときも安心です。

派遣先・交流大学について

本プログラムでは、タイを中心として、インドシナ半島の複数の国の大学と交流を行います。交流プログラムへの積極的な参加は成績評価に十分に反映させます。

シーナカリンウィロート大学(SWU)は、首都バンコクにあり、シリントン王女が大学院を修了なさったことでも知られる名門の国立大学です。駐在員らが多数居住する閑静住宅街に隣接する大学で治安上も不安がありません。

URL : <http://en.hu.swu.ac.th/>

モンクット王ラカバン工科大学(KMITL)は、タイの理工系のトップスクールの一つです。バンコク郊外(30kmほど)にある広大な敷地をもつ大学です。交流先は教養学部で日本語を専攻学生たちです。

URL : <http://www.kmitl.ac.th/en/main.php>

ラオス国家大学(NUOL)(受け入れのみ)は、タイの隣国ラオスのトップスクールです。ラオスは最後発途上国で社会主義国であり、タイとは社会・経済状況が全く異なります。交流を通してアセアンの国々の多様性を学べます。

URL : <http://www.nuol.edu.la/index.php/en/>

事前学習・受け入れプログラムについて

留学に先立ち、春学期定期試験終了後に事前の集中講義を実施します(出席必須)。また、6月からの受け入れるタイやラオスからの留学生の学習支援など、文化交流プログラムへの参加が必要になります。

ガイダンス	5月11日(土)、25日(土)予定	アセアン概説、受入留学生サポートに関する説明・打合せ
留学生受入	6月10日(月)~6月30日(日)	この期間に12時間以上の留学生サポートが必須
	6月15日(土)・16日(日)	山中セミナーハウス合宿参加(1泊2日)(参加必須)
事前学習	7月6日(土)	タイに関する講義、健康管理・危機管理について
	8月1日(木)2日(金)	その他、グループごとにプレゼン準備など
帰国報告	10月27日(日)	他「国際交流」合同(ホームカミングデー)(全員参加)
	11月23日(祝)	アカデミックフェス(全員参加、発表は代表者のみ)

※所属キャンパス以外のキャンパスへの交通費は自己負担となります。

単位と評価方法

事前学習、タイ・ラオスなどの学生の受入支援に加えて、派遣プログラムの様々なアクティビティへの参加、帰国後の成果報告（帰国報告）、レポート作成をあわせて「国際交流」2単位（通年扱い）の単位を付与します。「国際交流」科目は、履修上限単位数に含まれないので、他の科目で上限に達していても履修できます。

プログラムの費用・助成金について

費用（概算）：約¥145,000 学部助成が受けられる場合：約 ¥105,000

事前振込：約 113,000 円。7月中旬予定

現地払い：約 32,000 円（宿泊費 現地通貨で支払い）

ア) 上記参加費に含まれるもの

- ホテル滞在費（朝食含む）
- 航空運賃（空港使用料・海外空港税・燃油加算税・出入国税を含む） 約 8.7 万円
- 貸し切りバス代金
- 受入機関（SWU）研修費 約 1.1 万円
- 観光入場料
- フェアウェルパーティ費用
- 手配手数料
- 携帯電話・通信料（SIM カード代など）

※参加人数、為替レート、燃油サーチャージにより変動の可能性があります。

※最終的な支払い金額は、決定次第、お知らせいたします。

※7月中旬（予定）、明治大学が指定する銀行口座へ振り込んでください。振込先口座や締切日は、参加が決定した学生にのみ別途お知らせします（なお宿泊費約3.2万円は現地で支払います）。

※ 海外危機管理サービスについては、学部が負担します。

※ 参加者のうち選抜された3名は、先遣隊として数日前に渡航し別プログラムに参加します。これに関わる費用は、別途学部から費用補助が得られる予定です。

学部助成について（履修者全員）※在学中2回まで

学部から「国際交流事業への実習料助成」（実際の参加費用・渡航費により助成金額が異なる）を受けられます。

2018年度実績：40,000円

派遣予定日程表

月日	予定	滞在方法
【CLMV 学生会議参加学生（3名）】 8月22日（木）	17:00 成田発（NH807 便利用予定）⇒ 21:40 バンコク到着	バンコク市内 ホテル
8月23日（金）～8月25日（日）	CLMV 学生会議（フィールドワーク、討議、発表）	
【通常の参加学生】 8月26日（月）	成田空港集合後、出発前の案内 17:00 出発（NH807 便利用予定）⇒ 21:40 バンコク到着	バンコク市内 ホテル
8月27日（火）～9月8日（日）	【異文化交流に関する内容】 シーナカリンウィロート大学にて研修 ・現地学生とタイ語・タイ文化を学習 ・日本文化社会の紹介プレゼンテーション ・日タイ双方の文化に関するディスカッション 【観光】 アユタヤ（バンパイン宮殿、ワットマハータートほか） 【キャリア形成に関わる内容】 企業見学（以下を予定）	

	NTT Communications データセンター、自動車メーカー
9月9日(月)	帰国日 00:30 バンコク出発 (NH 808 便利用予定) 08:40 成田空港到着後、解散

宿泊先

バンコク市内 SWU 周辺 ホテル (朝食: 有、キッチン設備: 無、原則として相部屋, 近くにコインランドリー有り)

引率について


バンコクでの滞在期間を通じて学部教員が引率します。

応募から参加までの流れ

国際交流 ガイダンス	1年生	4月4日(木) 9時30分~10時30分	(第二校舎1・2番教室)
	2年生	4月2日(火) 15時00分~16時00分	(第二校舎6番教室)
	3・4年生	4月3日(水) 11時30分~12時30分	(LTリパティホール)
応募方法	Oh-o!Meiji のアンケート一覧にある「国際交流(タイ) 応募フォーム」から応募してください。		
応募期間	4月3日(水)~4月18日(木) 9時		
選考方法	上記「国際交流(タイ) 応募フォーム」の回答内容と面接によって選考。交流への意欲や協調性、留学への意欲を重視します。その他、TOEICスコア等、2年生以上はGPAも参考にします。		
面接	「国際交流(タイ) 応募フォーム」に面接希望時限を記入すること。 ・4月20日(土) 駿河台キャンパス 10:00~11:00, 11:00~12:00 ・4月22日(月) 和泉キャンパス 12:30~13:30, 13:30~14:30, 14:30~15:30 応募者には改めて Oh-o!Meiji をとおして面接集合場所・時間の連絡をします。		
選考結果発表	日時: 4月24日(水) 13時 場所: 情報コミュニケーション学部掲示板 (駿河台 LT2 階・和泉第一校舎表)		
参加申込	合格者のうち、正式に参加を申し込む者は、5月20日(月) 18時までに参加申込書・保護者の同意書・パスポートのコピーを情報コミュニケーション学部事務室に提出してください。参加申込書提出後は、キャンセル料金の対象となる場合がありますので注意してください。		
履修登録	参加申込書及び保護者同意書を提出した者については、学部事務室で「国際交流」の履修登録を行います。		

その他

- ・政変・大規模災害など不測の事態が生じ、渡航や受け入れが不可能になった場合には、その部分の学習について日本における講義・演習に代える場合があります。また、例えば、渡航・受入双方が行われないなど、それまでの実施状況に応じて、プログラムが中止になる場合があります。
- ・プログラム参加中に写真・ビデオ撮影をします。撮影した画像・映像は、明治大学の広報活動に使用されることがあります。申し込みをした時点で、その旨同意したものとみなします。
- ・次年度募集時に、参加者向け説明会にて報告をお願いすることがあります。
- ・「国際交流」は、派遣先が異なれば在学中複数回履修することができます。また、日程上に明らかな支障がない場合に限り、年間に複数回の履修も可能です。

情報コミュニケーション学部 「国際交流」ホームページ	http://www.meiji.ac.jp/infocom/office/shorttermexchange.html ※最新の情報については、ホームページから確認してください。	
問い合わせ先	情報コミュニケーション学部事務室 (和泉・駿河台) 【開室時間】 平日 9時~11時30分、12時30分~18時 土曜 9時~12時30分	